

2023年度一般選抜(TEAPスコア利用方式) 記述式問題 解答例

科目:2月3日 TEAP世界史

設問
2

リューベックなどの北ドイツの諸都市では、おもに海産物や穀物、毛皮などの生活必需品が取引された。ガン(ヘント)などのフランドルの諸都市では毛織物産業が栄えていたが、その原料である羊毛はイングランドで生産され、ロンドンから輸出されていた。この商業圏は内陸の通商路を通じて、ヨーロッパの各地の都市とつながっていた。またシャンパーニュでは大規模な定期市が開催されており、地中海商業圏とも結ばれていた。

設問
3

北の十字軍はローマ教皇が認めたという点で、トマス=アクィナスによる正戦の第1条件と適合するが、聖地への十字軍やレコンキスタとは異なり、異教徒のものであった土地に暴力的に侵攻したのであり、第2の条件には適合しない。第3の条件である正しい意図については、個々の君主や兵士には実利的・利己的な動機がまずあり、それが宗教的な目的により正当化されていたと思われる。そこでは異文化理解という視点は乏しく、ヨーロッパ人による正義感の暴走という観は否めない。したがって、同時代のトマスの基準に照らしても北の十字軍は正しい戦争といえない。さらに戦闘中の悲惨な状況は、「正戦」にはほど遠いものであった。ただし、その是非をめぐる法学論争は、戦争の条件を制限することで平和の実現を図る正戦論の形成に、一定の影響を与えた。